

**フランス語初級I**  
**Elementary French 1**

**演習 1単位 1学期**

**【担当教員】**

稲垣 文雄

**【教員室または連絡先】**

物質・材料 経営情報1号棟501室

**【授業目的及び達成目標】**

実際に使えるフランス語の習得を目標にする。フランス語が読めて発音できること。文構成の基礎知識の習得。初歩的な口頭表現ができるようになること。本学の教育目的1に該当。

**【授業キーワード】**

フランス語。初級。コミュニケーション。

**【授業内容及び授業方法】**

口頭表現の練習に重点を置いた参加型の授業を目指す。初歩なので、フランス語の発音と綴りの読み方から始め、基本的な文法項目順に授業を進める。フランス人に通じる範囲内の発音ができるようになることと日常生活における基本語彙の習得を念頭に置きつつ、基本的な文法事項を学んでゆく。文法事項は簡単な口頭表現に必須なものを厳選し、それをを用いた表現を使うことによって覚えてゆく。文法知識の詰め込みに終わることのないよう、先を急がず、随時復習をしながら授業を進める。

**【授業項目】**

1. 母音の発音、挨拶の表現I
2. 子音の発音、日本語になった身近なフランス語
3. アルファベ、綴りの読み方、挨拶の表現II
4. 名詞の性と数、定冠詞
5. 不定冠詞・部分冠詞
6. 発音・表現練習
7. 主語人称代名詞、動詞

**【教科書】**

『新・ジュタンプラス』 朝日出版社、およびプリント

**【参考書】**

辞書『クラウン仏和辞典』三省堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験の成績によって評価する。ただし、授業参加に熱意なしと認める場合は減点する。

**【留意事項】**

未知の外国語を習得するにはある程度の努力と忍耐が必要とされるのが現実ですが、できる限り楽しく学びたい。最初の授業で、授業の仕方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。私語は授業妨害になるので、厳禁します。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。

フランス語初級Iとフランス語初級IIをとおして履修してはじめて、初等フランス語をひとつお修得することになるので、両者の継続的履修が望まれます。

**【担当教員】**

稲垣 文雄

**【教員室または連絡先】**

物質・材料 経営情報1号棟 501室

**【授業目的及び達成目標】**

実践的なフランス語力の養成を目指す。フランスに旅行したとき自分の用をどうにかまかなえる会話力を身につけることと、教科書と辞書をたよりに簡単なフランス語文を解釈できるようになること。本学の教育目的1に該当。

**【授業キーワード】**

フランス語。初級。コミュニケーション。

**【授業内容及び授業方法】**

フランス語初級Iの学習方法を継続するが、フランス語文を解釈する基本練習を加える。

**【授業項目】**

1. フランス語Iの復習
2. 動詞 aller と venir、前置詞と定冠詞の縮約
3. 数詞
4. 非人称構文
5. 動詞 prendre と faire、疑問形容詞
6. 疑問副詞
7. 表現練習
8. 命令文、第2群規則動詞
9. 比較の表現
10. 直接目的補語
11. 間接目的補語
12. 代名動詞
13. 表現練習
14. 疑問代名詞
15. 総合練習

**【教科書】**

『新・ジュタンブラス』朝日出版社、およびプリント

**【参考書】**

辞書『クラウン仏和辞典』三省堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験の成績によって評価する。ただし、授業への参加熱意がないと判断される場合は減点する。

**【留意事項】**

受講者はすでにフランス語初級Iを履修している(単位を取得したかどうかは問わない)という前提で講義をします。最初の授業で、授業の仕方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。私語は授業妨害になるので、厳禁します。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。

**【担当教員】**

稲垣 文雄

**【教員室または連絡先】**

物質・材料 経営情報1号棟 501室

**【授業目的及び達成目標】**

自分の身元および日常生活について口頭で表現する力と、初歩的な旅行会話力を身につけること。本学の教育目的1に該当。

**【授業キーワード】**

フランス語。会話。コミュニケーション。

**【授業内容及び授業方法】**

日常会話の練習を通じて、フランス語初級I、IIで学習した項目を復習し、初級程度のフランス語の知識を確かなものにする。フランス語圏に旅行した場合あるいはフランス等からの訪問者との対応に必要な会話の基本的な表現を練習する。適宜プリントを配布する。

**【授業項目】**

1. 発音の復習
2. 挨拶の表現
3. 名前や職業を言う
4. 住んでいるところ、学んでいることを言う
5. 持ち物を言う、好みを言う
6. 待ち合わせの約束をする
7. 数量・程度の表現
8. 天候の表現
9. 空港での表現
10. 駅での表現
11. 喫茶店での表現
12. レストランでの表現
13. ホテルでの表現
14. 買い物の表現
15. 総合練習

**【教科書】**

『サリュ！』駿河台出版社

**【成績の評価方法と評価項目】**

授業における平常点 50%  
学期末試験 50%  
最後に、一人ずつ会話試験を行います。

**【留意事項】**

実習科目なので出席は重要です。ただし、積極的に会話に参加することが求められ、黙っていることは認めません。私語は授業妨害になるので厳禁します。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。受講者の要望も可能な限り取り入れます。

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟 501室

【授業目的及び達成目標】

フランス語の構文把握力を身につけ、情報伝達を目的とした文章の解釈力を養成することを目指す。達成目標は、辞書や参考書をたよりに、独力で平易な論文の概要が理解できるようになること。本学の教育目的1に該当。

【授業キーワード】

フランス語。解釈。

【授業内容及び授業方法】

まず、フランス語初級では学習しなかった文法事項を学習しながら、初歩的なフランス語文の解釈練習をおこなう。次に、情報伝達を目的とした平易なフランス語文解釈の練習をする。最初は学習用にリライトされた教材、次いで、フランスの小学生を対象とした新聞記事、フランスの中・高校生対象の新聞記事に移り、最終的にはインターネット上の一般的記事の比較的平易な文章を教材とする。はじめは教師と共に辞書を引きながら解釈のプロセスを実地に練習する。その後、毎回受講者にテキストを訳してもらい、随時、文法的復習と補足説明を加えながら、じっくり着実に解釈練習をおこなう。進度はゆっくりなので、充分ついてゆけるはず。

【授業項目】

以下の項目を、受講者の理解度をみながら順次おこなう。

1. 初級文法項目の復習
2. 直説法複合過去
3. 解釈練習
4. 直説法半過去・大過去
5. 解釈練習
6. 中性代名詞
7. 解釈練習
8. 関係代名詞
9. 解釈練習
10. documents authentiques の解釈演習と適宜文法説明

【教科書】

プリントを配布。

【成績の評価方法と評価項目】

評価方法

授業における平常点 50%

学期末試験 50%

学期末試験は、持ち込み制限なし(携帯電話は禁止)で、平易なフランス語の文章を訳していただく。

評価基準

辞書、教科書等を参照しながら独力で平易なフランス語文を解釈する力量に応じて評価する。

【留意事項】

最初の授業で、授業の進め方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習中にわからない箇所があったら、無理をせず、授業のときに申し出ること。説明をしながらみんなでやってみます。予習が間に合わなくても授業に出ること。いちいちとがめ立てはしません。

**【担当教員】**

宮内 俊至

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

ドイツ語の発音と文法の基礎を学ぶことにより、初歩的なドイツ語能力を習得する。

**【授業キーワード】**

動詞の現在人称変化、名詞の性、前置詞の格支配

**【授業内容及び授業方法】**

ドイツ語の発音と文法を教科書にそって学習する。

**【授業項目】**

動詞の現在人称変化、名詞の性、人称代名詞、前置詞、形容詞の格語尾変化、形容詞の比較級、動詞の過去人称変化

**【教科書】**

森田／川上「クールですねドイツ語」朝日出版社

**【成績の評価方法と評価項目】**

定期試験、中間試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

**【留意事項】**

予習・復習及び宿題は必ず行うこと。

**【担当教員】**

宮内 俊至

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

1学期に続き、ドイツ語の発音と文法の基礎を学ぶことにより、初歩的なドイツ語能力を習得する。

**【授業キーワード】**

完了形、複合動詞、受動、助動詞、再帰動詞、関係詞

**【授業内容及び授業方法】**

ドイツ語の発音と文法を教科書にそって学習する。

**【授業項目】**

完了形、分離動詞、非分離動詞、受動文、話法の助動詞、再帰動詞、関係代名詞、疑問代名詞、持続法

**【教科書】**

森田／川上「クールですねドイツ語」朝日出版社、配布プリント

**【成績の評価方法と評価項目】**

定期試験、中間試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

**【留意事項】**

予習・復習及び宿題は必ず行うこと。

**ドイツ語中級I**  
**Intermediate German 1**

**演習 1単位 1学期**

**【担当教員】**

宮内 俊至

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

「ドイツ語初級」で習得した文法知識をさらに確実なものとし、読解力をはじめとしてより高度なドイツ語能力を身につける。また、言葉の背景にある生活や文化についても学ぶ。

**【授業キーワード】**

文法の復習、読解力の向上、表現力の養成、ドイツとドイツ語、EUとドイツ

**【授業内容及び授業方法】**

教科書にそって文法の復習を行うと同時に、さまざまなドイツ語の文章を読むことによって読解力を高め、かつドイツの文化や社会について学ぶ。

**【授業項目】**

サッカー、音楽、恋愛と結婚、交通機関、環境問題、食事、EUとドイツ、ヨーロッパの中のドイツ語

**【教科書】**

清野／ラインデル「ドイツ語の時間〈初級読本 インゲとツヨシ〉」朝日出版社

**【成績の評価方法と評価項目】**

定期試験、中間試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

**【留意事項】**

「ドイツ語初級I、II」を履修しているか、それと同等のドイツ語能力を有していること。

**【担当教員】**

宮内 俊至

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

総合的なドイツ語能力を習得し、同時にドイツに関する知識を豊かにする。

**【授業キーワード】**

文法の復習、読解力の向上、表現力の養成、ドイツ語とドイツ、EUとドイツ

**【授業内容及び授業方法】**

教科書や配布資料をもとに、さまざまな種類の文章に接して読解力の向上を目指す。  
また、ドイツをはじめドイツ語圏の国々についても学ぶ。

**【授業項目】**

兵役義務、学生生活、学校と職業、ドイツと日本、その他

**【教科書】**

「ドイツ語の時間」、配布プリント

**【成績の評価方法と評価項目】**

定期試験、中間試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

**【留意事項】**

「ドイツ語中級I」を履修しているか、それと同等のドイツ語能力を有していること。



**【担当教員】**

朴春花

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

中国語コミュニケーションの能力を高め、基礎学力の養成を図る。  
授業で学んだことを授業中にきちんと消化することを目標とする。

**【授業キーワード】**

文法、練習、辞書で調べる。

**【授業内容及び授業方法】**

比較的平易な内容のテキストを使用し、中国語の語彙を増加させコミュニケーション能力を高める。

CDと教員の発音を聞きながら、学生が主体となり、発音・対話練習を行う。

**【授業項目】**

1. 声調・単母音・複母音・鼻音(1回)
2. 無気音・有気音・そり舌音(1回)
3. 知って便利な呼称、知って便利な挨拶(2回)
4. 第1課「自己紹介」(2回)
5. 第2課「これは何ですか?」(2回)
6. 第3課「これはいかがですか?」(2回)
7. 第4課「買い物」(2回)
8. 第5課「どこにありますか?」(2回)
9. 試験

**【教科書】**

『1年生のコミュニケーション中国語』  
塚本慶一 監修、劉穎 著、白水社出版  
随時、プリントも配布する。

**【参考書】**

『クラウン中日辞典』[小型版]、松岡 榮志、樋口 靖等編著、三省堂出版

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験60点、その他、小テスト30点、授業中の取り組み姿勢10点などの点数を総合して評価する。

**【留意事項】**

中国語の発音・最も基本的な単語・文法を繰り返し練習する。  
私語は厳禁します。  
授業の時に、中日辞典を持参するように。

**【担当教員】**

朴春花

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

中国語コミュニケーションの能力を高め、基礎学力の養成を図る。  
授業で学んだことを授業中にきちんと消化することを目標とする。

**【授業キーワード】**

文法、練習、辞書で調べる

**【授業内容及び授業方法】**

比較的平易な内容のテキストを使用し、中国語の語彙を増加させコミュニケーション能力を高める。  
CDと教員の発音を聞きながら、学生が主体となり、発音・対話練習、日本語訳、中国語訳を行う。

**【授業項目】**

1. 第6課「何がありますか?」(2回)
2. 第7課「何時に行きますか?」(2回)
3. 第8課「ホテルのフロントで」(2回)
4. 第9課「タクシーに乗る」(2回)
5. 第10課「試着と支払い」(2回)
6. 第11課「苦情を訴える」(2回)
7. 第12課「紛失届を出す」(2回)
8. 試験

**【教科書】**

『1年生のコミュニケーション中国語』  
塚本慶一 監修、劉穎 著、白水社出版  
随時、プリントも配布する。

**【参考書】**

『クラウン中日辞典』[小型版]、松岡 榮志、樋口 靖等編著、三省堂出版

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験60点、その他、小テスト30点、授業中の取り組み姿勢10点などの点数を総合して評価する。

**【留意事項】**

受講者はすでに中国語初級Iを履修しているという前提で講義をします。  
中国語の発音・最も基本的な単語・文法を繰り返し練習する。  
私語は厳禁します。  
授業の時に、中日辞典を持参するように。

**【担当教員】**

朴春花

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

中国語コミュニケーションの能力を高め、基礎学力の養成を図る。  
授業で学んだことを授業中にきちんと消化することを目標とする。

**【授業キーワード】**

文法、練習、辞書で調べる

**【授業内容及び授業方法】**

比較的平易な内容のテキストを使用し、中国語の語彙を増加させコミュニケーション能力を高める。  
CDと教員の発音を聞きながら、学生が主体となり、発音・対話練習を行う。

**【授業項目】**

- (1) 復習1—声調・単母音・複母音・鼻音(1回)
- (2) 復習2—無気音・有気音・そり舌音(1回)
- (3) 復習3—基本動詞・基本形容詞・基本文型(2回)
- (4) 第1課「北京に到着」(2回)
- (5) 第2課「道を尋ねる」(2回)
- (6) 第3課「買い物」(2回)
- (7) 第4課「バスに乗る」(2回)
- (8) 第5課「新しい友達」(2回)
- (9) 試験

**【教科書】**

『2年生のコミュニケーション中国語』  
塚本 慶一 監修、劉 穎 著、白水社出版  
随時、プリントも配布する。

**【参考書】**

『クラウン中日辞典』[小型版]、松岡 榮志、樋口 靖等編著、三省堂出版

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験60点、その他、小テスト20点、レポート10点、授業中の取り組み姿勢10点などの点数を総合して評価する。

**【留意事項】**

中国語の発音・最も基本的な単語・文法を習得しておくといよい。  
授業の時に、中日辞典を持参するように。

**【担当教員】**

朴 春花

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

中国語コミュニケーションの能力を高め、基礎学力の養成を図る。  
授業で学んだことを授業中にきちんと消化することを目標とする。

**【授業キーワード】**

文法、練習、辞書で調べる

**【授業内容及び授業方法】**

比較的平易な内容のテキストを使用し、中国語の語彙を増加させ、コミュニケーション能力を高める。  
各課のポイントと本文の内容を確認する。会話練習・日本語訳・中国語訳を行う。

**【授業項目】**

- (1) 第6課「外食」(2回)
- (2) 第7課「約束」(2回)
- (3) 第8課「友達に電話する」(2回)
- (4) 第9課「郵便局」(2回)
- (5) 第10課「医者に行く」(2回)
- (6) 第11課「家庭訪問」(2回)
- (7) 第12課「謝恩会」(2回)
- (8) 試験

**【教科書】**

『2年生のコミュニケーション中国語』  
塚本 慶一 監修、劉 穎 著、白水社出版  
随時、プリントも配布する。

**【参考書】**

『クラウン中日辞典』[小型版]、松岡 榮志、樋口 靖等編著、三省堂出版

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験60点、その他、小テスト20点、レポート10点、授業中の取り組み姿勢10点などの点数を総合して評価する。

**【留意事項】**

中国語の発音・最も基本的な単語・文法を習得しておくといよい。  
授業の時に、中日辞典を持参するように。

【担当教員】

金 光林

【教員室または連絡先】

非常勤講師  
E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

韓国語の授業を通して、韓国語の文字と発音を習得し、簡単な会話ができ、比較的簡単な文章が読めるようにしたい。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

【授業キーワード】

ハングル、母音と子音、パッチム(終声)、発音の変化

【授業内容及び授業方法】

最初の数回の授業を通して韓国語の文字と発音を勉強し、それからテキストの本文に入り、韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」、「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テストを積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均1・5回の授業で1課目ずつ学ぶ。

【授業項目】

1. ガイダンス、基本母音
2. 基本子音
3. 基本子音・複合母音
4. 複合母音・パッチム(終声)
5. 発音の変化
6. 第1課 私は浅井ゆかりです
7. 第2課 出身はソウルですか
8. 第3課 図書館ではありません
9. 第4課 時間がありますか
10. まとめ
11. 第5課 ネットカフェでパソコンをします
12. 第6課 貿易会社で働いています
13. 第7課 東大門市場に行きます
14. まとめ
15. 学期末試験

【教科書】

木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座』(国書刊行会、2002年)

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

【留意事項】

韓国語初級Iを学んだ受講生は、韓国語初級IIまで履修することが望ましい。1年ぐらい学んでこそ韓国語の基本が身につくはずである。

**【担当教員】**

金 光林

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

**【授業目的及び達成目標】**

1学期の勉強の基礎の上に立って、2学期にはもう少し豊かな韓国語の会話・表現を学び、基本的な文法を学び、翻訳の練習も行なう予定である。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

**【授業キーワード】**

パッチム(終声)、発音の変化、用言の活用、敬体など

**【授業内容及び授業方法】**

基本的にテキストに基づいて、韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テストを積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均1・5回の授業で1課目ずつ学ぶ。

**【授業項目】**

1. 第8課 しょっちゅうスーパーで買います
2. 第9課 それは1万ウォンです
3. 第10課 今、何時ですか
4. 第11課 日本語を話されますか
5. まとめ
6. 第12課 そんなに遠くありません
7. 第13課 いつ韓国に来ましたか
8. 第14課 民俗村に一緒に行きましょう
9. 第15課 パーティーの準備をしています
10. まとめ
11. 第16課 何も食べられませんでした
12. 第17課 陶磁器が見たいです
13. 第18課 写真を撮ってもいいですか。
14. まとめ
15. 学期末試験

**【教科書】**

木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座』(国書刊行会、2002年)

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

**【留意事項】**

韓国語初級IIは韓国語初級Iを修了した上で履修することが望ましい。

**【担当教員】**

金光林

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師  
E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

**【授業目的及び達成目標】**

大学の授業で韓国語を1年程度学んだ学生を対象に、韓国語の基礎を復習・応用しながら、さらに中級程度の韓国語を学び、韓国語の実力が一段とレベルアップできるようにしたい。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

**【授業キーワード】**

ハングル、母音と子音、パッチム(終声)、発音の変化など

**【授業内容及び授業方法】**

基本的にテキストに基づいて、韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」、「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テストを積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均1回の授業で1課目ずつ学ぶ。

**【授業項目】**

1. 第1課 これは何ですか
2. 第2課 これは時計です
3. 第3課 こんにちは
4. 第4課 ここはどこですか
5. 第5課 食堂へいらっしゃいますか
6. 第6課 今日は天気はどうですか
7. 第7課 今日は何曜日ですか
8. 第8課 私の部屋は3階にあります
9. 第9課 昨日は何をしましたか
10. 第10課 どこからいらっしゃいましたか
11. 第11課 そこは金先生のお宅ですか
12. 第12課 このりんごは一ついくらですか
13. 第13課 何にいたしますか
14. まとめ
15. 学期末試験

**【教科書】**

ソウル大学校言語教育院編『韓国語1』(ムンジンメディア、2002年)

**【成績の評価方法と評価項目】**

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

**【留意事項】**

韓国語初級を履修した(あるいはそれと同じ実力のある)学生を対象にした授業である。

【担当教員】

金光林

【教員室または連絡先】

非常勤講師

E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

大学の授業で韓国語を1年程度学んだ学生を対象に、韓国語の基礎を復習・応用しながら、さらに中級程度の韓国語を学び、韓国語の実力が一段とレベルアップできるようにしたい。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

【授業キーワード】

パッチム(終声)、発音の変化、用言の活用、敬体など

【授業内容及び授業方法】

基本的にテキストに基づいて、韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テストを積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均1回の授業で1課目ずつ学ぶ。

【授業項目】

1. 第14課 早く行きましょう
2. 第15課 バスに乗りましょう
3. 第16課 明日の夜は忙しいですか
4. 第17課 家族が何名ですか
5. 第18課 野球が好きですか
6. 第19課 昨日は私の誕生日でした
7. 第20課 慶州へ旅行に出かけました
8. 第21課 服を一着買いたいです
9. 第22課 週末に何を予定ですか
10. 第23課 かぜをひきました
11. 第24課 何を飲まれますか
12. 第25課 私は7時に起きます
13. 第26課 今日は私がお茶代を支払います
14. まとめ
15. 学期末試験

【教科書】

ソウル大学校言語教育院編『韓国語1』(ムンジンメディア、2002年)

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

【留意事項】

韓国語初級を履修した(あるいはそれと同じ実力のある)学生を対象にした授業である。



**【担当教員】**

石崎 チャネル

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師  
英語ないしスペイン語で下記にメールで連絡して下さい。  
chanel@nagaokaut.ac.jp

**【授業目的及び達成目標】**

基礎的なスペイン語の語彙と文法を理解することにより基礎的なスペイン語の会話を聞き取り、及びスペイン語で簡単な文章を読めるようにする。  
Provide basic vocabulary and grammar to understand spoken Spanish, and read simple Spanish texts

**【授業キーワード】**

スペイン語語彙、スペイン語文法 数詞  
Spanish vocabulary, grammar, and cardinal number

**【授業内容及び授業方法】**

教室内の読解、会話を行い。宿題により書く能力を養う。  
Readings and conversations in the classroom plus written exercises as homework

**【授業項目】**

- 第1週 スペイン語のアルファベット El alfabeto
- 第2週 I. 基数(0から20まで) Los números (del 0 al 20)  
II. よく使う表現 Expresiones útiles  
III. あいさつ Saludos
- 第3週 I. 紹介 Presentación  
II. 基数(20から100まで) Los números (del 20 al 100)
- 第4週 国籍と言語 Nacionalidades y lenguas
- 第5週 職業と職場 Lugares y profesiones
- 第6週 住所と電話 Dirección y teléfono
- 第7週 今までの復習
- 第8週 中間試験
- 第9週 あなたそれともお前 Usted o tú
- 第10週 家族 La familia
- 第11週 ..である、..です、持っている、身につけている Es, esta, tiene, lleva
- 第12週 I. 基数(101から数百万) Los números (desde el 101 a los millones)  
II. 「どれ」と「どちら」 ¿Cuál? / ¿Cuáles?
- 第13週 復習
- 第14週 最終試験
- 第15週 最終試験の結果を見ながらの演習

**【教科書】**

“Español útil para japoneses (日本人のための役に立つスペイン語)”, ジョルディ・ジュステ、坂東省次 (2003), 朝日出版社、その他必要に応じて印刷物を配布する

**【成績の評価方法と評価項目】**

宿題 30%、中間試験 30%、最終試験 40%.

**【留意事項】**

授業には遅刻をしないこと

【担当教員】

石崎 チャネル

【教員室または連絡先】

非常勤講師室  
英語ないしスペイン語で下記にメールで連絡して下さい。  
chanel@nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

基礎的なスペイン語の語彙と文法を理解することにより、基礎的なスペイン語の会話及びスペイン語で簡単な文章を読み書き出来るようにする。

Provide basic vocabulary and grammar to understand spoken Spanish,  
be able to communicate in Spanish and read as well as write simple  
Spanish texts

【授業キーワード】

スペイン語語彙、スペイン語文法 序数  
Spanish vocabulary, grammar and ordinal number

【授業内容及び授業方法】

教室内の読解、会話を行い。宿題により書く能力を養う。  
Readings and conversations in the classroom plus written exercises  
as homework

【授業項目】

- 第1週 方向と場所を表す Dirección y lugar
- 第2週 I. 命令形 Imperativos
- II. 序数 Números ordinales
- 第3週 I. 何時ですか。 ¿Qué hora es?
- II. 曜日 Los días de semana
- 第4週 好みを言う El gusto
- 第5週 直説法現在 Presente de indicativo
- 第6週 心身の状態を表す Vocabulario del estado
- 第7週 電話での会話 Teléfono
- 第8週 中間試験
- 第9週 買い物と食べ物 Compra y comida
- 第10週 比較 Comparación
- 第11週 動詞 El verbo
- 第12週 現在完了 Pretérito perfecto
- 第13週 復習
- 第14週 最終試験
- 第15週 最終試験の結果を見ながらの演習

【教科書】

“Español útil para japoneses (日本人のための役に立つスペイン語)”, ジョルディ・ジュステ、坂東省次 (2003), 朝日出版社、その他必要に応じて印刷物を配布する

【成績の評価方法と評価項目】

宿題 30%、中間試験 30%、最終試験 40%.

【留意事項】

授業には遅刻をしないこと